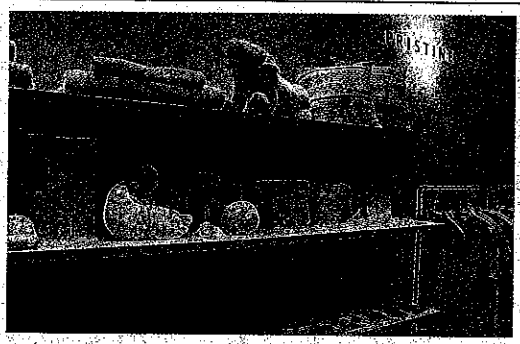
オーガニックフォーラムジャパン

オーガニック展を開催

繊維企業の提案に注目



各種オーガニックコットン製品が並ぶ

オーガニックフォーラムジャパン（東京都中央区）主催の「第1回オーガニックライフスタイルEXPO」が18、19日、東京都千代田区の東京国際フォーラムで開催された。繊維製品や生活雑貨関連企業らが出展者として名を連ね、オーガニックコットンを用いた各種製品が大きく注目された。

「味（あじわう）」「育（はぐくむ）」「纏（まとう）」「磨（みがく）」「癒（いやす）」「暮（くらす）」「守（まもる）」「活（いかす）」などのカテゴリーでの提案となった今回。繊維関連では、アパンティ（東京都新宿区）、チーム・オースリー（東京都目黒区）、協同組合エヌエス（事務局・奈良県北葛城郡）などが出展した。

アパンティは、ライフスタイルブランド「プリンスティン」を提案したが、16秋冬にデビューしたメンズラインも紹介した。チーム・オースリーは、純オーガニックコットン製品&布ナプキンの「メイド・イン・アース」の各種製品を並べた。

協同組合エヌエスは「オーガニックガーデン」ブランドのソックス、ペピーウエア、ニットウエア、インナー、タオルを披露。いわきおでんとSUN企業組合（福島県いわき市）はオリジナルブランド「ふくしま潮目」を提案するとともに、関連事業を紹介した。

オーガニックコットン商品の企画・製造・販売を手掛ける村上メリヤス（奈良県大和高田市）は、横編みによる製品を打ち出した。マインド松井（岐阜県岐阜市）は、ストールや帽子、ファッション小物などを展示したが、これらには自社栽培した綿花をガラ紡績で紡いだ糸を用いた。

展示会では各種セミナーやイベントが実施され、19日にはエシカルファッションショーも行われた。

京都北部に産業創造センター

産学公で産業創出

山田知事、

「時代に合った人材育成から中小企業の支援まで」

大阪スタイリングエキスポ明日開催

独自のファッション発信

テーマ「美しく生きる」

大阪独自のファッション文化を発信するイベント「大阪スタイリングエキスポ」のファッション部門が明日23日、堂島リバーフォーラム（大阪市福島区）で開かれる。2010年の初開催から7回目となる今回は、在阪アパレルが中心になって「美しく生きる」をテーマに幅広い世代の女性に向け、大阪ならではの新たなファッション文化を発信する。

このイベントにはアパレル企業に加え、若手デザイナーやファッション専門学校などの学生も多数参加する。「クランドコレクション」として在阪有力アパレルがファッションショーでコレクションを披露するほか、「ジョイントコレクション」では個性派アパレルがアピールする。「コラボクリエ

前年同期比（%）	
数量	金額
－	98
74	66
36	34
84	91
89	85
102	101

万ドで前年同月実績を1%上回った。

商品別では糸輸出が数量・金額ともに前年同月を上回った。ナイロン長繊維輸出が数量3533トン（前年同月比7%増）、金額が2334万ドル（10%増）とけん引役で、全体では数量1万4488トン（1%増）、金額8725万ドル（3%増）だった。1～9月累計でも数量が前年同月比2%増、金額1%増となっている。

織・編み物は主力の長繊維織物が好調。ナイロン長繊維織物は数量68